

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和元年 11 月 16 日（土）午後 2 時～3 時 30 分
場 所 駒林西集会所（駒林西自治会）
参加者数 36 人



主な意見等

参加者 駒西自治会では、月～金曜日に 2 人ずつ、駒西小学校のスクールガードを行っています。駒西小学校から県道へ向かう途中の道路で危ない場所があるのですが、自治会でスクールガードを 1 人増やすことは難しいため、交通指導員さんをお願いできないでしょうか。

市 長 現在、市内の小・中学校は全 19 校あり、実は交通指導員のなり手が少ない状況です。予算も伴いますので、交通指導員の設置は基準を設けていますので、まず現場の状況を確認させていただきます。

参加者 以前、その場所に信号を設置できないかと東入間警察署へ要望したのですが「既に設置してある信号と距離が近いいため難しい」と言われました。

市 長 そうなんです。信号や横断歩道は一定の間隔が必要で設置が難しく、信号機の増設は 2 市 1 町の東入間警察官内で、年に 1 カ所増設するかどうかという状況です。私たちも市でできる交通安全対策を考えてまいります。

参加者 県道沿いの薬局の向かいの土地が、空き地になっています。土地の所有者の方が変わってから、建物が建つ様子がなく、雑草が生い茂ってしまっています。大人の身長より高いような草もあり、ご近所の方は孢子が飛ぶため、窓も開けられないということです。

以前、市役所へ相談し、土地の所有者の方に連絡していただきました。その際「今日明日とは言えないが対応する」と伺いましたが、それから2カ月経っても状況が変わりません。

市長 ご指摘の空き地については、担当の部署に再度確認するようお伝えします。

近年、このような空き家・空き地のトラブルが増えています。空き家の問題は、ご近所トラブルを避けるためにも市から注意をするようにしますので、何かありましたら市役所へご連絡ください。

空き家・空き地といっても個人の財産ですので、無理やり踏み込むことはできませんが、市から所有者の方へお願いをしたり、シルバー人材センターをご案内したりなどの対応をしてみたいです。

参加者 防災行政無線で行方不明者の放送がありますが、結果の放送がありません。必要ではないでしょうか。

市長 行方不明者の放送件数は、以前と比べてかなり増えており、日に2～3件という日もあります。対象となる方が増えているのですが、高齢化の時代ですので、今後もますます増えると思います。

行方不明者発見の報告を放送している市があることは、私たちも把握しています。しかし本来の防災行政無線のルールとしては、使用頻度を下げるよういわれています。また、行方不明者の捜索は警察の依頼を受けて放送しているのですが、実は警察から発見の報告が入らない場合もあります。市民の皆さんにはご心配をおかけしていますが、何度も放送が無ければ、その方は見つかったとご理解いただければと思います。

ホームページには結果を載せていますが、見ない方の方が多いのではないかと考えています。

参加者 そうですね。ホームページは見ません。

市長 1日に何度か放送をする場合、その合間に重要な放送があることも

考えられます。例えば以前、市内で、刃物を持った人による傷害未遂の事件がありました。その際も、市としては放送を流すことで、市民の皆さんの不安をあおってしまうのではないかと考えました。幸いその事件では、防災行政無線で放送したことが功を奏して犯人の自首に繋がりましたが、防災行政無線は使い方によってさまざまな影響が考えられます。

先ほども申しました通り、今後、行方不明者の放送は増えると思われるので、ご理解をお願いします。

参加者 先日、総合防災訓練が行われました。駒林西自治会の地域は、駒西小学校が避難所に指定されていて、当日は周辺の4地域から、約120～130人が集まりました。実際の災害時には、訓練に参加していない住民も含めて集まりますので、体育館に入りきれないと感じました。

先日の台風第19号の際でも、被災地によっては避難所が足りず、避難を断られた人がいたと聞きます。市でも避難所の状況を明確に発信し、避難の際にあらかじめ確認できるようにしてほしいと思います。

市長 万が一の災害時に、市としては、全ての市民の皆さんに指定避難所に避難していただくという想定はしていません。

過去の大震災でもそうだったのですが、自宅が使える人は指定避難所ではなく、自宅で過ごされます。特に震災は、季節や時間帯によって環境が変わり、また、揺れの周波数によって建物の倒壊数も大きく違います。火災が発生した場合など一時的に地域の皆さんが一斉に避難する場合もあるでしょうが、地域一帯が停電している場合は自宅に留まるなど、必ずしも指定避難所で暮らしていただくわけではありません。

実は、先日の台風第19号で、市として初めて「避難準備情報」より上の「避難勧告・避難指示」を発令しました。ふじみ野市でも、避難所として開設した福岡中学校と上野台小学校の体育館は、いっぱいになりました。「避難勧告・避難指示」の出た新河岸川沿いに住む方にとっては福岡小学校が近いのですが、福岡小学校は標高が低く、水害時の避難所としては使えませんので、駒西小学校で避難所を開設し、少し距離はありますが避難していただきました。

災害の状況により、その時その時で状況が変わります。市民の皆

さんには、地震の際などはまず近所の公園や畑など倒壊の危険の無い身近な場所に一時的に避難して大きな揺れをやり過ごしていただき、それから小学校などの指定避難所へ行っていただきます。

万が一、指定避難所がいっぱいになって入りきれなくなりそうだという時は、市でも次の手次の手を考えながら、ご指摘いただいた通り、可能な限り迅速に情報を発信してまいります。

参加者 全国では、8軒に1軒が空き家という状況です。しかし空き家を解体し更地にすると、固定資産税が6倍になってしまうため、「更地にしたくてもできない」という人が増えるのではないのでしょうか。日本全体の問題だと思いますが、市としてどう対策を考えていますか。

市長 空き家は、更地だと固定資産税が6倍になるというよりは、建物が建っていることで固定資産税が6分の1に軽減されています。空き家の所有者は市外など別の地域で生活し、所有している土地を活用せずにとだ財産として残しているという状態です。固定資産税の節約のために土地や建物を放置するのではなく、きちんと管理することは、所有者が本来すべき対応です。

先日、空家等対策特別措置法が施行されました。これは、倒壊の恐れがあるなど、あまりに危険な「特定空き家」を解体せずに放置している場合、固定資産税の減免がなくなるというものです。「子や孫のために資産を残しているんだ」という人にも、適切に管理していただきたいと市でも考えています。

参加者 お出かけサポートタクシーを利用しています。現在の利用時間は夕方5時までですが、午後6～7時まで延長できないのでしょうか。また、お出かけサポートタクシーの台数が限られていて、なかなか空きがない一方で、タクシープールで待っている一般のタクシーを見かけることがあります。多少料金体系を変えてでも、台数を増やせないのでしょうか。

市長 同じお声を多数いただきます。タクシー会社のご協力があったの制度で、現在3社にご協力いただき、各社3台ずつ出していただいで運用しています。制度の変更については、市の予算があれば叶うわけではなく、ご協力いただく各社・警察や陸運局、バス会社などに

よる合議体で検討する必要があります。

お出かけサポートタクシーは、乗降場所などのルールがあることなどで、会社の利益を損なわない方法を選んでいきます。ご要望頂いた遅い時間は、通常のタクシー利用者が増える時間帯ですので、申し訳ありませんが行きはお出かけサポートタクシーで、遅くなった帰りの時間は通常料金でタクシーを利用するなど、使い分けのご協力をお願いします。

なお、これまで多くご要望いただいていた、市内のみから2市1町へのエリア拡大運行は、近いうちに実現しそうです。私たちも利便性を向上できるよう、頑張ってまいります。

参加者 先日の台風第19号では、あちこちで被害がありました。これから温暖化の影響などでますます雨量も増え、想定外のことが起こり得ると思います。

私たちの住む駒西は、水の心配はないと思っておりますが、万が一荒川が氾濫した場合、どれだけの影響があるのでしょうか。

市長 市役所でお配りするほか、全戸にもお配りしている「洪水ハザードマップ」を見ていただくとわかりますが、駒西のあたりは荒川の決壊時も比較的水が来ないエリアです。しかし、ご指摘の通り、想定外の雨量がある場合もあります。荒川の決壊は200年に1度といわれていますが、その200年が来年かもしれません。

先日の台風第19号のときは、二瀬ダムが緊急放流しなかったのが救いだったと思います。しかし荒川の土手は水でいっぱいになり、河川敷にある私たちの「ふじみ野市運動公園」「荒川運動公園」「荒川第2運動公園」は、かなりの堆積物が残り、その処理に数千万単位の費用がかかる状況でした。近隣の田んぼを持つ農家の皆さんはどうやって処理しているのか伺ったところ、泥が乾いた後にうまく土に混ぜて耕すということだったので、それを参考に砂を混ぜながら運動公園も修繕していきますが、それでも結構な費用がかかります。

先日の台風では、私も避難所を視察しましたが、仮に真夏や真冬であったら大変な状況になるなとつくづく思いました。水害時には刻々と状況が変わるとは思いますが、どこの避難所が大丈夫かという情報をなるべくお伝えしていきたいと思っております。

参加者 駒西自治会で、避難所運営委員を務めています。先日の台風第19号で、初めて実際に駒西小学校への避難がありましたが、市役所から運営委員のところには連絡がなく、市の職員が駒西小学校に来て対応していました。毎年の総合防災訓練では、地震を想定し、地震発生直後に指定避難所に駆け付けることになっていますが、実際の避難所運営で活躍できず、訓練のための運営委員となってしまっています。

市長 ありがとうございます。ご指摘いただいたとおりでと思います。今回の台風第19号では、駒林西自治会の地域の皆さんが避難をするということはありませんでしたが、地域の指定避難所を開設するのであれば、他の地域の皆さんが避難してきた状況を地元の運営委員の皆さんに手伝っていただくことで、今後に生かせたのだと思います。気が回らず申し訳ありませんでした。

担当職員をかばうわけではありませんが、全力を尽くして水害のことを対処していたため、気が回らなかったのだと思います。正に今のご意見は、今後の反省点です。ご指摘ありがとうございます。